

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	三室戸保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成28年2月12日

総 評	<p>三室戸保育園は宇治市の中心地、宇治橋から程近く、京阪三室戸液から南に向かい徒歩五分ほどの住宅地にあります。お散歩圏内には宇治川河川敷、三室戸寺、宇治上神社や大吉山があり、自然に触れあう機会も多くある保育園です。</p> <p>三室戸保育園の運営母体である社会福祉法人宇治福祉園のホームページを閲覧すると体系立てられた設計がされており利用者にとって見たい情報に辿り着き易く工夫されています。理念や方針の明文化は勿論、これから利用を検討される方にとっても分かり易く情報提供がなされています。</p> <p>三室戸保育園本体以外にも木幡分園や「笠取自然の家」「カップランド」などを活用し、学童保育、家庭的保育、一時保育、延長保育など、多様なニーズに対応し事業を展開しています。その中で乳幼児期の「本物とのふれあい」、季節感を重んじ、京野菜を使ったクッキング活動、稲作や茶摘み体験など地域文化に根ざした体験、苦難を乗り越えてこそその達成感を意識した保育の取り組みがされています。地域の機関紙等を通じ普遍的ないのちの大切さを子どもたちに伝え、意欲を育てるという管理者・職員含めた保育者の思いが伝わってきます。</p> <p>園運営システムを活用した職員間での情報共有を図りつつ、計画的で多くの研修を通じ保育の質を高める研鑽を積み重ねられています。また、それらの取り組みを通して職員が愛着の持てる職場づくりに努めています。</p> <p>今回の調査では多様な取り組みの確認ができたのみならず管理者の指導力と併せ、組織として保育の質向上に取り組んでいる姿勢が伺えました。</p>
特に良かった点(※)	<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップ 管理者は職員からの信頼が厚く、保育理念や方針を明確に示しています。</p> <p>II-2 人材の確保・養成 研鑽のための計画的な職員研修をはじめ、多くの実習生の受け入れと養成校との連携、職員が職場に愛着を持てる環境づくりに努めています。</p> <p>III-2-(2) サービスの質の確保とサービス実施の記録 園運営システムを用いた自己評価を行い、改善への取り組み、情報の共有と作業の効率化に資しています。</p> <p>IV-1-(3) 保育内容 保育環境において「日常的なしあわせを創造する」という理念を大切に、子どもの遊びたいという気持ちを尊重し、自然体験や音楽体験等を含め、様々な体験が出来るよう努めています。子どものあそびと保育環境が常に成長に応じた環境となるよう配慮し、園内だけでなく周辺地域の環境も活用した保育実践に努めています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>IV-1-(2) 保育環境 園児がより心地よく快適に過ごすための環境が整備されています。今後は、更に保育室内の安全管理を含む環境整備に努められるとなお良いでしょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

【保育所版】 評価結果対比シート

受診施設名	三室戸保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成28年 1月19日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・法人の保育理念、保育方針、保育目標、保育課程、指導計画は「入園のしおり」、見学者向けパンフレット「宇治福祉園の概要」、ホームページ、掲示板などに掲載され明文化されています。それらの内容は進級オリエンテーションや懇談会で取り上げ周知に努めています。また、職員全員が理念、方針、目標、保育課程を確認し、日々の保育に反映するよう取り組んでいます。

・子どもの生活する姿や発想を長期・短期指導計画に反映させ、それらの計画の評価・見直しを毎日実施しています。保護者とは、進級オリエンテーションや育児講座、懇談会などで話し合う機会を設けており、保育の内容について共通理解が得られるよう努めています。

・保育課程の編成や指導計画の作成は園運営システムを活用しています。日々の記録に対する評価・反省を次の計画に活かし、それらの内容は園運営システムを活用し、管理者だけに留まらず、職員全員で共有しています。管理者と職員は、普段より相互に意見交流し、園全体で子ども一人ひとりを見守る保育実践に取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		② 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		③ 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
② 定期的な教育・研修計画の策定・実施・評価・見直しを行っている。		A	A	
③ 定期的な教育・研修計画の策定・実施・評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・管理者を中心に、高い保育理念と保育目標を全職員が共有出来るよう取り組み、それらの内容をふまえた上で必要な情報を収集し、園経営を行っています。毎朝の朝礼では、管理者自ら職員一人ひとりに連絡・確認・指導を行うと共に、個別の相談にも応じるなど職員との信頼関係が構築されています。

・キャリアパスを法人事業計画で明文化し、職員の年間研修計画も定め、資質向上の取り組みが整備されています。園の保育の特徴でもある「実りある本物」にこだわり、子どもが作った藍染を暖簾にしたり、職員のエプロンにも活かすなど、子どもだけでなく職員にも園に対して愛着が持てるよう職場の環境づくりに取り組んでいます。

・年間30人ほどの実習生の受け入れや、養成校との積極的な意見情報交換を通じた連携があります。

・子育て支援の観点から一時保育、園庭開放、育児セミナーなどを通じ地域の子育ての実情把握に努め、社会福祉協議会や地域の民生児童委員と連絡を取りながら地域との関係を構築しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・入園のしおり（重要事項説明書）には利用者向け情報が整理され見やすく掲載されています。福祉サービスについての内容は、初任者研修で職員指導を行っています。意見ボックスを設置することで利用者の声を拾いつつ、靴箱のスペースに設置することで投稿者が特定されにくい工夫もされています。

・第三者評価を継続的に受診することで、常に課題意識を持って質の向上に努めています。

・園運営システムは、セキュリティに配慮した上で活用・運営されています。また、園運営システムについて職員の習熟度も高く、利用者の情報や課題の共有目的で、広く効率的に活用している様子が伺えます。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・ 幼児組はランチルームが設けられ、子どものリクエストメニューがあるなど楽しく食事ができる工夫がされています。
- ・ 牛乳パックやペットボトル等のリサイクル素材を豊富に活用し、園児の年齢や活動に合わせて、手作りの玩具や遊具が作られています。
- ・ 自然物や様々な素材に日常的に触れられるコーナーがあり、遊びの中で園児が自由に表現できる場を設けています。
- ・ 保育の環境構成を考える際、園内SNSや園運営システムを利用し職員全体で共有し、意見交換ができるようにしています。
- ・ 園児がより心地よく快適に過ごすための環境が整備されています。今後は、保育室内の安全管理を含む環境整備に努められるとなお良いでしょう。
- ・ 笠取自然体験の家やカッパランドでの農園活動、種から育てる藍染め、お茶摘み活動など、自然と関わるだけでなく、地域性を生かした昔ながらの伝統的な文化の体験をする機会を日常的に設けています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・連絡ノートや懇談会等で保護者と情報交換を行い、内容に応じて園運営システムに記録し、職員間で情報も共有できています。
- ・SNSで園の取り組みや管理者からのコメントを発信し、日常的な保育を保護者と共通理解できる仕組みが整っています。
- ・分園「さんりん舎」、きょうだい園「Hana花保育園」での一時保育受け入れを通じ、地域の子育ての実情把握に努め、利用者の子育て支援を行っています。
- ・PDCAサイクルによって評価・反省が次の計画に活かされています。毎日の記録から月、年の記録、保育要録へと積み重なって繋がるよう、システムも構築しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・衛生管理、食中毒、危機管理等のマニュアルが整備され、園共有サーバー内に収められ、保育室内にも紙面で掲示しています。
- ・ヒヤリ・ハットや事故等の報告は、園運営システムに記入し、朝礼や会議などで職員に情報共有を図っています。
- ・定期的に交通安全教室を警察と連携して開催しています。